

なるほど！ ザ・ファンド Q & A

Vol.233

Q. 「株式」とはどのようなものですか？

A. 企業が事業活動を行うための資金を集める「資金調達」の手段として発行する証券のことです。

- ◆ 企業は、事業活動や新しい事業に参入したりするために資金が必要になります。企業は資金調達の手段として、金融機関からの借入れ（融資）や投資家や会社などから借金をする社債の発行以外に、「株式」を発行して投資家から資金を募る方法を用いる場合があります。
- ◆ 「株式」の発行による資金調達は、融資や社債のように返済義務がないことや、証券取引所などに上場すると多くの人から幅広く資金を集めることができるなど、企業にとってのメリットが多数あります。
- ◆ 投資家は「株式」を購入することで、購入した企業の株主になることができます。つまり、企業のオーナーの一人になることができます。株主になると、企業の経営に参加できる権利（議決権）、企業が得た利益の一部を受取る権利（配当金や株主優待）などを持つことができ、株価の値上がりによる売却益を得ることができます。
- ◆ 上場企業の場合、「株式」の売買は証券取引所などで行われ、主に証券会社を通じて取引します。株価は企業業績や市場の需給、経済状況などによって日々変動し、業績向上が見込まれる企業の「株式」は買い手が増え、株価が上昇するのが一般的な傾向です。

企業の資金調達方法の例

企業



資金調達

1

金融機関からの借入れ

資金調達

2

投資家や会社などから借金をする

この場合、借りたという証拠に発行する借用証書のようなものが「社債券」です。国が発行する債券である「国債」と同じように「満期」「利率」「額面」という条件が決められて発行されます。

株式

資金調達

3

株式を発行して株主を募る

金融機関からの借入れや社債の発行による資金調達と異なり、株式の発行によって調達した資金は企業が直接、株主に返す必要はありません。株主が資金を回収するには、その株式を他の投資家に売ることでお金に換えます（株式の売買）。

（注）上記は一般的な資金調達の例であり、実際とは異なる場合があります。

※この資料の最終ページの「重要な注意事項」を必ずご確認ください

【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

＜ご留意いただきたい点＞

■この資料は具体的な商品をご説明するものではないため詳細を記載しておりませんが、元本保証のないリスク性商品のご購入やご売却、保有にあたっては、手数料等をご負担いただきます。■リスク性商品には、各種相場環境等の変動により、投資した資産の価値が投資元本を割り込む等のリスクがあります。■リスク性商品中途解約する場合は、ご購入時の条件が適用されず不利益となる場合があります。■くわしくは、三井住友銀行店頭の商品の説明書等を必ずご覧ください。

**三井住友銀行**

株式会社三井住友銀行
登録金融機関 関東財務局長（登金）第54号
加入協会 / 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会